永久保証：恵みによる必然的結果

もしキリストを心から信じて、しかも救いを失わないようにするには、神の規律を守らなければならないとしたらどうでしょう。

	はい	いいえ
確かに自分は永遠の命は恵みによって与えられたと言えますか。	❑	❑
あるいは、		
自分の救いは、神の規律を守るか守らないかによる。	❑	❑

したがって、もしだれか聖書の教える永久保証を頭から否定する者がいたら、その人はいったい恵みによって神に接するのでしょうか、あるいは規律を守り通すことによってなのでしょうか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

だれかこのようにして罪をゆるされた(救われた)人がいますか(小冊子14―15ページ参照)。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

聖書によると、人はどのようにして罪をゆるされるのでしょうか(ローマ人3:28によると)。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

聖書の別の箇所で、イエスは次のように言っています。

> **「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っており、彼らはわたしについて来ます。わたしは彼らに永遠の命を与えます。だから彼らは決して滅びることがなく、まただれもわたしの手から彼らを奪い取ることはできません。わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大な方です。そしてだれもわたしの父の御手から、彼らを奪い取ることはできません。」 (ヨハネ伝10章27―29節)**

この聖句に、イエスはどのような命を与えると言っているのでしょうか。

❑ 一時的　❑ 条件付の(暫定的)　❑ 永遠の

もしイエスが言うように永遠であるなら、どこかで失うのでしょうか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

福音

「福音」とは、喜ばしい知らせという意味です。私たちは、この罪の状態のままでは、けっして神に出会うことはできません。それ故に、神は天からイエスを私たちの罪の身代わりに死ぬために送って下さいました。そして三日目にイエスを死から、よみがえらせました。

> **「兄弟たちよ、私はあなたがたに福音を知らせましょう…キリストは聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、そして葬られたこと、聖書に従って三日目によみがえられたこと、」**
> **(第1コリント人15章1―4節)**

福音とは、イエスが私たちの罪の身代わりとして死んで下さり、勝利の印として死からよみがえられたことなのです。

イエスは私たちの罪の身代わりに死んで、その死からよみがえったことにより、罪の仕切り(壁)を取り除いて下さいました。

イエスは死んで、その死からよみがえったことを私たちは本当に信じるのですが、いったいイエスは私たちの罪の身代わりに死んで下さったというのは、どういう意味なのでしょうか。そして、どのようにしてイエスの死は、神と人との隔たりの壁を取り除くことができたのでしょうか。